

2022年11月14日（月）
図書館総合展：NIIフォーラム
機関における研究データ公開サービスへの期待と展望



RDM支援活動の事例分析と共有 (中間報告)

国立大学図書館協会資料委員会
オープンサイエンス小委員会

概要

海外の大学・研究機関におけるRDM支援事例について、実際の業務内容等に関するインタビューを行い、会員館におけるRDM支援業務の設計・実践の一助とする。

- Research Data Alliance編「データ管理で研究者と協力するために：クックブック」掲載事例等を対象とし、海外のRDM支援実務担当者へのインタビューを実施する。
RDM支援業務自体に加え、それを支える制度、スキルアップ手法等についても取材する。
- インタビュー結果に基づき、日本国内の大学／図書館への適用・応用方策を探り、会員館に共有する
- メンバー
東京大学／名古屋大学／京都大学／神戸大学／奈良女子大学

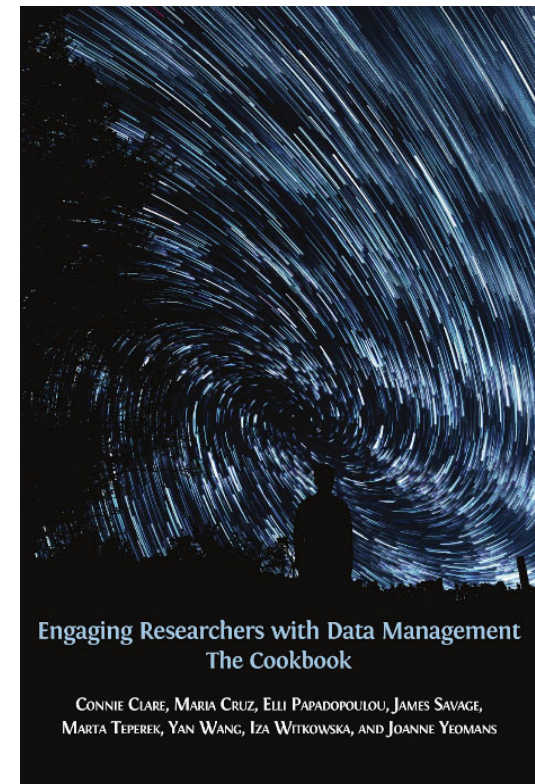
参考資料

『データ管理で研究者と協力するために：クックブック』

<https://doi.org/10.14989/267606>

- RDA(Research Data Alliance)のLibrary for Research Data Interest Groupによる編纂
- 海外7か国24件のRDM支援事例を紹介

原著：“Engaging Researchers with Data Management: The Cookbook” (2019) <https://doi.org/10.11647/OBP.0185>



インタビュー先機関・内容の選定

- ① RDM支援の体制について
- ② RDM支援人材（専門職）について
- ③ 研究者を対象とした研修・講座について

**大学で今困っていること／やりたいことに
活かせそうな内容を中心に選定！**

インタビュー先（予定）

クックブック内トピック

• ライデン大学（クックブック 1.2）

RDMポリシー実施方策

• ノルウェー北極大学（3.3, 3.4）

RDM研修・講座

• ケンブリッジ大学（5.1）

• ワーゲニンゲン大学（5.3）

RDM支援コミュニティ

• デルフト工科大学（5.2, 6.1）

• ユトレヒト大学（6.3）

RDM支援専門職

• 他 . . .

→現在、質問事項を精査 ~ 順次問合せ中

①RDM支援の体制について

- RDM支援には図書館、IT、研究推進、URAなど、様々な部門の業務が関連するため、具体的な連携の体制を知りたい！
- RDM支援の専門部署がある場合、図書館／図書館職員がどのように関与しているのか知りたい！

ライデン大学（クックブック1.2）

- 「支援サービスマトリクス」を用いたスタッフ間の結びつき強化
→ 「データ管理ネットワーク」イベントで研究者・スタッフの対話

ワーゲニンゲン大学（クックブック5.3）

- ワーゲニンゲン・データ・コンピテンシー・センター：大学の既存の教育研究組織の統合・強化を目指す
→ 「データ管理支援チーム」：図書館とIT部門の共同チーム

②RDM支援人材（専門職）

- RDM支援人材の具体的な職員像を知りたい！
バックグラウンド、スキル、業務内容、モチベーションなど
- 専門職採用／職員研修／自己研鑽に取り入れたい！
- 「研究データ管理支援人材に求められる標準スキル」
(<https://doi.org/10.20736/0002000219>)とあわせて参考にしたいたい！

デルフト工科大学（クックブック5.2, 6.1）

- データチャンピオン：研究者主体の有志のコミュニティ
- データスチュワード：各学部に配属されるRDM専門家（元研究者・フルタイム職員）。学部全体を対象にRDM支援を行う
- データスチュワードシップ・コーディネーター：図書館に所属。全学のデータスチュワードを一元的に調整、相乗効果を生み出す

③研究者を対象とした研修・講座

- 図書館の情報リテラシー教育として取り入れたい！
- 研修内容は？ 研究者のニーズの高い情報とは？
- 受講しやすい仕組みを参考にしたい！

ノルウェー北極大学（クックブック 3.3, 3.4）

- 博士課程向け：研究公正とOSに関する学際セミナー
 - 研究支援部門・IT部門との連携／指導教官からの履修後押し／研究担当副学長との話し合い・支援→学内での意識向上へ
- 学内教職員・学生向け：RDM講座
 - 短時間（45分）でポイントを絞った講座（入門～個別テーマ）